

【2019年春闘各社回答内容について】

2019年3月22日現在 国鉄労働組合

Table with columns: 会社名, 賃金改善 (ベア, 前年比, その他), 定期昇給, 諸手当改善等, 回答日, 妥協日. Rows include 北海道, 東日本, 東海, 西日本, 四国, 九州, 貨物, ソフトバンク.

2019春闘 北海道・四国18年連続ベア・ゼロ 貨物会社は2000円の引き上げ

国労は、本年1月26日に開催した第189回拡大中央委員会... 引き上げ等を柱とした9項目の要求を掲げ9春闘を闘ってきた。

JR各社の回答は、3月14日の西日本会社ベア1000円の引き上げ、年間臨給5・48カ月(夏季2・74カ月、年末2・74カ月)を皮切りに、14日

に東海会社ベア1300円の引き上げ、夏季手当3・05カ月、15日に東日本会社が平均1050円の引き上げ、九州会社ベア300円、夏季手当2・56カ月、貨物会社はベア2000円、北海道は18年連続

JR各社が入社式を開催 新入社員激励行動を取り組む

JRグループ各社は4月1日、2019年度の入社式を各地で開催した。国労は各エリア本部で入社式行動を取り組み、新入社員に労働組合の重要性と国労加入を呼びかけた。

JR北海道は、札幌市手稲区の社員研修センターで開催。本年度は前年を上回る265人(うち女性21人)。

東海総合研修センターで開催。昨年度より111人多い884人。内訳は総合職101人、アソシエイト職22人、プロフェッショナル職741人、医療職20人。

昨年度より10人多い123人(うち女性25人)。内訳は大学・大学院・高専卒の総合職20人(5人)、プロフェッショナル職60人(13人)、高校卒43人(7人)。

JR九州は、博多駅ビル・JR九州ホールで開催。昨年度より9人多い219人(うち女性67人)。内訳は大学・大学院卒の総合職41人(13人)、大学・高校卒を中心とする専門職168人(45人)、医療10人(9人)。

JR貨物は、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで開催。本年度は234人(うち女性35人)。内訳は本社26人(11人)、北海道支社20人(11人)、東北支社23人、関東支社55人(5人)、東海支社19人、関西支社54人(1人)、九州支社16人と、契約社員から正社員へ転換した女性13人、昨年11月以降に入社した本社8人(4人)。

JRシステムは、東京都内のホテルで開催。本年度は23人(うち女性6人)。鉄道総研は、国分寺市の国立研究所で開催。本年度は22人(うち女性3人)。



港区新橋5-15-5 国鉄労働組合中央本部 03-5403-1640 発行人 菊池忠志 編集責任者 瀧口良二 (組合員の購読料は組合費の中に含む)

3・28 運輸安全委員会がのぞみ台車亀裂事故調査報告 指令や保守担当が危険判断を相互に依存と指摘 熊本地裁が34年前の松橋事

件で宮田さんに再審無罪 3・29 40歳以上の中高年引きこもり、若年層超えて61万人、内閣府推計▽東日本大震災から8年後も避難者5万人、復興庁まとめ 4・1 政府は「平成」と発

表、5月1日施行▽日銀短 観6年3カ月ぶり大幅悪化、強まる景気後退懸念 4・5 道路整備をめぐる「総理・副総理に付随」発言で塚田国交副大臣が事実上更迭▽石井国交相が沖縄県による辺野古埋め立て承認撤回を「違法」と裁決 4・8 北海道知事選は自

公推薦の前夕張市長が初当選▽日産臨時株主総会でゴーン前会長の取締役解任 4・10 桜田五輪相が「復興より政治家大事」の失言で更迭▽9条改憲首相案支持40%、安倍政権下反対が54%▽EU首脳会議は英離脱を10月まで再延期で合意

お知らせ 5・30 JAL本社大包围行動 2019年5月30日(木) 18時15分~19時00分 天王洲アイルJAL本社前 モノレール・臨海線 「天王洲アイル駅」下車徒歩5分 JAL不当解雇撤回国民支援共闘主催

2019年4月1日、新元号が「令和」と発表された。5月1日から現在の元号名称「平成」は「令和」となる。このタイミングでこのコーナーの執筆担当が回ってきたことに、運命的なものを少なからず感じる。世の中では統一地方選挙前半戦が終わり、自民党が議席数を減らしてなお、過半数を獲得したと報じられている。このコーナーが読まれているころには、後半戦の結果も確定している。さらに夏には、参議院選挙も控えている。繰り返される閣僚の失言や暴言、沖縄県民の民意を踏みにじり改憲議論を狙う安倍政権の暴走政治に歯止めをかけ、「新しい時代」にふさわしい、世の中がつけられる条件をたたき取りなければとつくづく思う。さて、国鉄労働組合にとつての「新しい時代」は、どうつくるのか? 本年1月に開催した第189回拡大中央委員会でも国労は、今後を見据えた「5年ビジョン」を組合員に提起し確認された。まさに「新しい時代」を切り開いていくための確認であり、タイミングとなった。この確認を、なんとしてでもやりきる努力を、組織を挙げて奮闘しあわなければならない。まさに他人事ではなく、国鉄労働組合自身の、組合員一人一人の課題である。▼「令和」と決まった新元号の由来は歌集「万葉集」で、日本古典からの引用は初めてのこと。「初春の令月にして、氣淑く風和ぎ」から出典らしいが、国労の「5年ビジョン」は、令月にして、風和らぐように成り行き任せで実現はできない。(宮)



JR東日本入社式激励行動

速報 組織拡大 ◎近畿地方本部・大阪地区本部・大阪貨物分会・吹田機関区・主任運転士明谷辰夫 51歳 3月25日付 ◎東京地方本部・

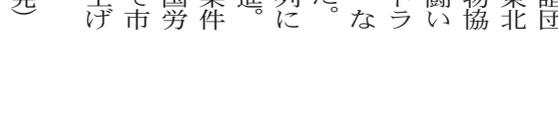
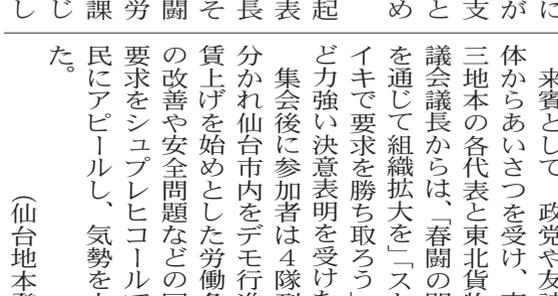
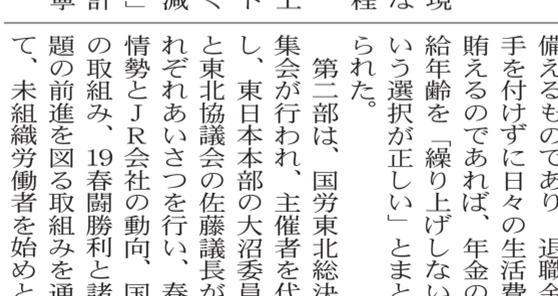
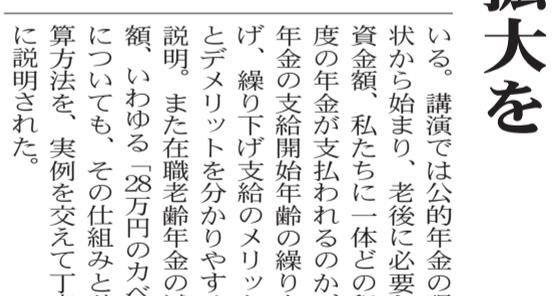
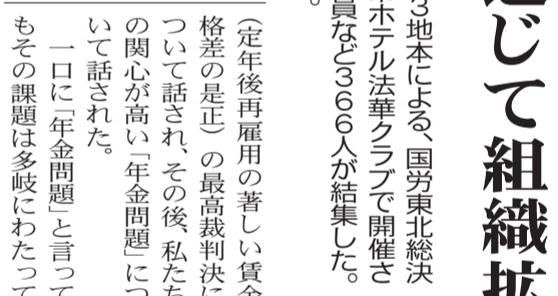
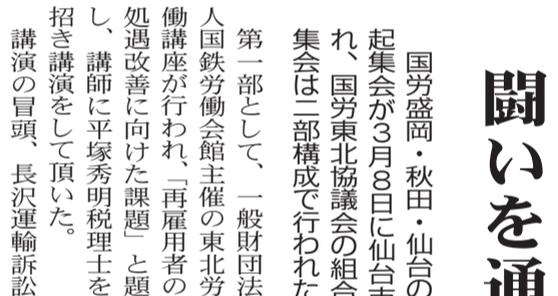
神奈川地区本部・横浜支部・相模原運輸区分会・事務主任 高森秀之 57歳 4月1日付 ◎北海道本部・旭川地区本部・旭川分会・旭川駅 佐藤完哉 20歳 4月1日付

# 日本労西国 契約社員の正社員化・労働条件の改善 J・R間の格差是正を求める

国労西日本本部は3月13日に国労西日本総行動を取り組んだ。国労大阪会館で2019春闘決起集会を開催し、その後、J・R西日本本社前・J・R貨物関西支社前行動を取り組み、400名の組合員が結集した。

2019春闘決起集会は藤野副委員長の司会で進行した。主催者を代表して森田委員長が、交渉状況、安全問題、憲法改悪などの政治状況を報告した。連帯挨拶として、大阪労連の川辺顧問が大阪における政治情勢、上部機関から佐々木副委員長が全国の春闘情勢、組織拡大行動などを報告した。最後に新田業務部長からの交渉経過報告を受け、参加者全体で確認した。

J・R西日本本社前・J・R貨物関西支社前行動は、中野副委員長司会で進行した。主催者を代表して森田委員長が、「西日本本社の回答には、抗議の意を表明している。貨物会社には有額回答を求めていきたい」と訴えた。続いて、中央本部の佐々木



副委員長が、「賃金大幅引上げが景気回復の特効薬となる。企業の社会的責任だ。国労が全国一組織として、職場・地域から運動の先頭に立つことが重要。客貨一体の闘いを強化し、貨物に有額回答をさせよう。29歳の貨物の仲間が加入した。引き続き頑張っていこう」と挨拶した。

関西貨物協議会の工藤事務局長は、「貨物会社は『ベア・ゼロ』を示唆する発言を行った。社員の生活を守る責任を果たすべきだ。『新しい人事制度の導入』は、人件費を抑制する施策である。この制度に不安を持ち5名の仲間が国労加入を果たした。満額回答に向け奮闘していく」と訴えた。その後、各地方本部委員長の決意表明が行われた。北陸地本の羽柴委員長は、

「統一早朝宣伝行動・現場長申し入れを行った。ワンマン化反対の宣伝・アンケートを取り組んできた。今後も春闘を精一杯闘い抜く。米子地本の倉下委員長は、「春闘討論集を全支部で開催した。賃上げは社会的運動である。職場では、年休取得等の権利が守

られていない。今後、現場長交渉を強めていく。岡山地本の後藤委員長は、「大衆行動を積み上げると共にストライキを背景とした闘いをした。駅の無人化・ワンマン化反対を掲げ地域宣伝行動・支社前行動を展開した。今後も関連会社の交渉・地域春闘・地方統一選挙に奮闘していく。広島地本の福田委員長は、「主要駅で早朝宣伝行動を行った。職場では、労働条件・賃金に対して不満を持ち、国労に期待し

ている。最後まであきらめず、職場・関連会社・地域の仲間と団結して奮闘していく。近畿地本の西園委員長は、「西日本本社の1000円回答に抗議する。貨物会社に対しては、大幅賃上げを要求する。近畿各地で地域の仲間と共に早朝統一宣伝・デモ行動を行っている。今後も精一杯頑張っていく。」

最後に大北青年部長のシユプレヒコールで行動を終えた。(西日本本部発)

一を行った。2月12日・13日の両日、支部春闘学習総決起集会を開催し、12日に「東京医労連の闘いと19春闘・組織拡大の取り組み」と題し、東京医労連の青山書記長、13日に「エルダール再雇用後の年金問題をはじめとする諸課題について」と題し、鉄道退職者会東京地連の清水事務局長から講演をして頂くと同時に、「2019年度過半数代表者選挙」に対する取り組みの意思統一を図ってきた。3月6日には、春闘交渉を担う国労本部及び国労東日本本部に、春闘学習総決起集会で作成した檄布を手渡し、上部機関を激励すると共に、支部として交渉を下支えする取り組みの強化を確認してきた。各地区分会・班でも、新宿地区分会で3月2日に全組合員集会、中野電区班で3月4日に新年度に向けて要請書の申し入れ行動、東京地区分会で3月8日に『先の戦争を考える集い・交流』、蒲田地区分会で3月15日に蒲田駅頭宣伝行動などを取り組んできた」と支部春闘総

決起集会には、地域で組合活動や組織拡大を積極的に行っている全国一般から2名の方に参加して頂き、全国一般福岡支部の上田書記長から

「19春闘・職場闘争の強化について」と題して講演を受けた。主催者を代表して千々岩委員長は、「15日の会社回答日を目前に控え、19春闘は重要な時期を迎えている。何として5年連続のベア獲得、労働条件の改善を勝ち取りたい。同時に、春闘と結合して組織拡大に全力をあげよう」と挨拶した。

その後、古賀業務部長から春闘の交渉経過が報告され、全体で意思統一を図った。決起集会には、地域で組合活動や組織拡大を積極的に行っている全国一般から2名の方に参加して頂き、全国一般福岡支部の上田書記長から

最後に、年金制度とは、「長生き」という将来のリスクに備えるものであり、退職金に手付けず日々の生活費が賄えるのであれば、年金の支給年齢を「繰り上げしない」という選択が正しい」とまとめられた。

第二部は、国労東北総決起集会が行われ、主催者を代表して、東日本本部の大沼委員長と東北協議会の佐藤議長がそれぞれあいさつを行い、春闘情勢とJ・R会社の動向、国労要求をシュプレヒコールで市民にアピールし、氣勢を上げた。

「統一早朝宣伝行動・現場長申し入れを行った。ワンマン化反対の宣伝・アンケートを取り組んできた。今後も春闘を精一杯闘い抜く。米子地本の倉下委員長は、「春闘討論集を全支部で開催した。賃上げは社会的運動である。職場では、年休取得等の権利が守

ている。最後まであきらめず、職場・関連会社・地域の仲間と団結して奮闘していく。近畿地本の西園委員長は、「西日本本社の1000円回答に抗議する。貨物会社に対しては、大幅賃上げを要求する。近畿各地で地域の仲間と共に早朝統一宣伝・デモ行動を行っている。今後も精一杯頑張っていく。」

最後に大北青年部長のシユプレヒコールで行動を終えた。(西日本本部発)

一を行った。2月12日・13日の両日、支部春闘学習総決起集会を開催し、12日に「東京医労連の闘いと19春闘・組織拡大の取り組み」と題し、東京医労連の青山書記長、13日に「エルダール再雇用後の年金問題をはじめとする諸課題について」と題し、鉄道退職者会東京地連の清水事務局長から講演をして頂くと同時に、「2019年度過半数代表者選挙」に対する取り組みの意思統一を図ってきた。3月6日には、春闘交渉を担う国労本部及び国労東日本本部に、春闘学習総決起集会で作成した檄布を手渡し、上部機関を激励すると共に、支部として交渉を下支えする取り組みの強化を確認してきた。各地区分会・班でも、新宿地区分会で3月2日に全組合員集会、中野電区班で3月4日に新年度に向けて要請書の申し入れ行動、東京地区分会で3月8日に『先の戦争を考える集い・交流』、蒲田地区分会で3月15日に蒲田駅頭宣伝行動などを取り組んできた」と支部春闘総

決起集会には、地域で組合活動や組織拡大を積極的に行っている全国一般から2名の方に参加して頂き、全国一般福岡支部の上田書記長から

最後に、年金制度とは、「長生き」という将来のリスクに備えるものであり、退職金に手付けず日々の生活費が賄えるのであれば、年金の支給年齢を「繰り上げしない」という選択が正しい」とまとめられた。

第二部は、国労東北総決起集会が行われ、主催者を代表して、東日本本部の大沼委員長と東北協議会の佐藤議長がそれぞれあいさつを行い、春闘情勢とJ・R会社の動向、国労要求をシュプレヒコールで市民にアピールし、氣勢を上げた。

ながら、19春闘での大幅賃上げとJ・Rの安全・安定輸送を訴えた。(東京地本新橋支部発)

## 春闘と組織強化・拡大を結合し 全組合員参加の運動展開を

東京地本新橋支部主催の19春闘勝利！組織強化・拡大！3・15国労新橋支部春闘統一行動集約集会が3月15日に港区新橋の交通ビルにて開催され、集会後、デモ行進が行われた。

集会は高瀬組織部長の司会で進行した。主催者を代表して市川委員長が、「職場の闘いを積み上げて19春闘で大幅賃上げを勝ち取り、春闘の闘いを通じて組織の強化・拡大につなげていく」と挨拶した。

上部機関からは、東京地本の石井書記長がJ・R内の春闘情勢を報告した。来賓として、南部全労協の藤村事務局長が連帯の挨拶を行い、続いてJ・A・L争議団とF・A・ユニテッド争議団から争議の経過報告と支援が訴え

## 国労東北総決起集会 闘いを通じて組織拡大を

国労盛岡・秋田・仙台の3地本による、国労東北総決起集会が3月8日に仙台市ホテル法華クラブで開催され、国労東北協議会の組合員など366人が結集した。集会は二部構成で行われた。

第一部として、一般財団法人国鉄労働会館主催の東北労働講座が行われ、「再雇用者の処遇改善に向けた課題」と題し、講師に平塚秀明税理士を招き講演をして頂いた。一口に「年金問題」と言ってもその課題は多岐にわたって

いる。講演では公的年金の現状から始まり、老後に必要な資金額、私たちに一体どの程度の年金が支払われるのか、年金の支給開始年齢の繰り上げ、繰り下げ支給のメリットとデメリットを分かりやすく説明。また在職老齢年金の減額、いわゆる「28万円のカベ」についても、その仕組みと計算方法を、実例を交えて丁寧に説明された。

## 国労九州19春闘総決起集会 学習活動の重要性を再認識

国労九州本部は3月11日に、博多TKP会議室において19春闘総決起集会を開催した。

主催者を代表して千々岩委員長は、「19春闘・職場闘争の強化について」と題して講演を受けた。参加者からは「組合員は各会社に点在し24分会を組織しているが、非専従でやっているため、役員会や連絡体制など苦勞しながらやっている。会社と団体交渉で対峙する場合同時に、春闘と結合して組織拡大に全力をあげよう」と挨拶した。

西部ガス・カスターマー分会の取り組みとして、岩崎書記次長からは、会社統合、事業所統合などを受け、労働組合潰しの攻撃の中、事業所で多数を取るため努力し、10事業所のうち3事業所で過半数を確保したこと。会社の賃下げ攻撃において組合は、激変緩和措置を勝ち取ったこと。不当な配転について撤回をさせたことなど、労働組合の必要性を訴えて頂いた。ここでも学習と職場集会の必要性が出され、徹底して議論することが大事であると訴えられた。

# 3・21さようなら原発全国集会

## フクシマを忘れない 脱原発社会の実現を

「さようなら原発」1千万署名市民の会主催の、「さようなら原発全国集会」が3月21日、東京都代々木公園にて開催され、全国から1万人の労働者・市民が結集した。福島原発事故から8年目を迎え、いまだ多くの難題を抱え、4万人を超える被災者が苦しむ避難生活を続ける中で、「フクシマを忘れない」、「脱原発社会の実現」が訴えられ、集会後はデモ行進で脱原発を沿道の人々に呼び掛けた。



フクシマの現状を訴える被災者

全国集会は11時からブースが開店し、パネル展示やDVD上映、書籍・グッズなどの物販、署名活動が行われた。第一部は12時45分から野外ステージにて「さようなら原発ライブ」が行われた。13時30分から第二部が開会され、菱山南帆子さんの司会

で進行された。主催者を代表して、呼びかけ人であるポライターの鎌田慧さんは、「原発は論理的にも倫理的にも破綻している。メリツトは何もない。モラルもない。それを支えているのは安倍政権である。この政権を倒すことが必要だ」と訴えた。

呼びかけ人で作家の落合恵子さんは、安倍首相が口にする「福島、沖縄県民に寄り添う」という言葉の欺瞞性を糾弾し、前日未明に亡くなった経産省テント広場「共同代表の淵上太郎さんの死を乗り越え、明日のために、今日頑張ろう」と呼び掛けた。

東海第二原発再稼働について、地元東海村村議会議員の阿部功志さんは、危険な老朽原発の問題を訴え、再稼働を許さない決意を語った。原発ゼロ法案国会報告では、昨年3月に立憲民主党など野党4党が中心となって国会に提出した「原発ゼロ基本法案」が、原発を推進する与党などによって、真摯にエネルギー政策が議論されるべきところ、法案が棚ざらしになっている事が立憲民主党の山崎誠議員から報告された。

高橋生平和大使からの発言に続き、沖縄・一坪反戦地主会関東ブロックや、戦争させない・9条を壊すな！総がかり行動実行委員会の福山真劫さんからは、安倍政権の沖縄



主催者挨拶する 角田政志実行委員長

の辺野古の埋立て強行や憲法改悪など、原発同様に民意を無視した政治の傲慢さが訴えられた。今年も労働組合の若手が中心となって、福島を皮切りに新潟・茨城・東京と「フクシマ連帯キャラバン」が取り組まれ、その報告が行われた。最後に「集会アピール」が読み上げられ、参加者全員による

デモ行進が実施された。採択されたアピールは、後日政府などの関係機関に送られた。

集会終了後、参加者は原宿コース(代々木公園)原宿駅前、表参道、外苑前駅の2・3kmと、渋谷コース(代々木公園)公園通り、渋谷駅八丁公前、明治通り、神宮通公園の1・3kmに分かれてデモ行進を行った。国労は平和フォーラムの仲間と共に原宿コースに参加し、東海第二原発を

はじめてとした原発再稼働反対、さようなら原発を沿道の人々に訴えた。

平和大使として取り組んで得た経験が語られた。消費者団体からは、福島県生活協同組合連合会の佐藤専務理事から、根強い風評被害に負けず、農林水産業に携わる生産者の頑張りが報告された。集会の第一目標である「県内の原発全基廃炉はおおむね達成されたが、関連死者数は昨年9月末現在で2267人のほり、依然として増え続けている。故郷を奪われ、避難している人は今年2月現在、県内外に約4万2千人も居る。避難指示の解除が進んでも、帰還の足取りは重く、若い年齢層の急減は地域の再建を著しく困難にしている」など、課題は山積みであること。また、「裁判所における東電幹部の責任追及および損害賠償をめぐる紛争解決も途上の段階である。一方、原発事故から8

月東京福島第一原子力発電所の事故の翌年から、県民大会を開催して今回で8回目を迎える。全国から多くの賛同を得ながら県民大会が継続され、集会参加者は昨年までに5万人を超えた。この集会では三つの指標を掲げ運動を展開してきた。とりわけ、東京電力福島第二原子力発電所の全基即時廃炉を県民の総意としてきた。運動の成果として、昨年6月、東京電力は、廃炉の方向で検討すると表明するに至り、福島県のみならず日本の歴史に大きな転機をもたらした」と挨拶した。

特別ゲストの香山リカさん(精神科医)は、「原発ゼロ」を強く訴えた。県民からの発言は、浪江町の鈴木さんが、「被災者は核災棄民だ」と訴え、教育関係者からは、被災地の教育現場の実態が報告された。20代高校生平和大使の高橋さんからは、

戦争させない・9条壊すな！総がかり実行委員会と「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲行動実行委員会の共催で、3月25日に東京都千代田区の日本教育会館で「辺野古への土砂投入中止を訴える集会」が開催された。政党からは、立憲民主党、日本共産党、社会民主党、沖縄の風から連帯の挨拶が行われた。超党派の議員で構成される「沖縄等米軍基地問題議員懇

談会」の石橋通宏事務局長(参議院議員・立憲民主党)から国会報告が行われ、懇談会が精力的に取り組んでいる外務省・防衛省など政府へのヒアリングについて説明が行われた。沖縄から駆け付けた前名護市長の稲嶺進さん(オール沖縄会議共同代表)からは、軟弱地盤や米軍基地の運用基準である高さ制限を超える建造物があることから、新基地建設

年が経過し、全国的には記憶と意識の風化が進んでいること。今回の県民集会では、これまでの活動の歴史的な意義を振り返るとともに、県民がこれからも立ち向かっていかなければならない諸課題を確認し、その解決に向けた道筋について共に考える集会となったことを集会アピールで確認し採択された。

は困難であることが訴えられ、工事を強行する安倍政権の姿勢が非難された。続いて、沖縄県外からの土砂搬入に反対し、署名活動を行っている辺野古土砂搬出全国連絡協議会の顧問である湯浅一郎さんの講演が行われた。

講演では、安倍政権が認められた軟弱地盤の改良工事について言及し、これまでの計画数量以上に県外からの海砂の投入が危惧されること。海砂の採取は採取地の自然環境および生態系の破壊につながることを指摘された。

## 2019 福島県民大会

県内原発全基廃炉の成果から新たな段階への一歩に踏み出そう

原発のない福島を！県民大会実行委員会主催による「2019 原発のない福島を！県民大会」が、3月16日に福島県福島市の福島県教育会館で開催され、県内外から1700名の労働者・市民が参加した。

集会の冒頭、2011年3月11日に発生した東日本大震災で亡くなられた方々への黙祷が行われた。主催者を代表して角田政志実行委員長が、「2011年3

月東京福島第一原子力発電所の事故の翌年から、県民大会を開催して今回で8回目を迎える。全国から多くの賛同を得ながら県民大会が継続され、集会参加者は昨年までに5万人を超えた。この集会では三つの指標を掲げ運動を展開してきた。とりわけ、東京電力福島第二原子力発電所の全基即時廃炉を県民の総意としてきた。運動の成果として、昨年6月、東京電力は、廃炉の方向で検討すると表明するに至り、福島県のみならず日本の歴史に大きな転機をもたらした」と挨拶した。

特別ゲストの香山リカさん(精神科医)は、「原発ゼロ」を強く訴えた。県民からの発言は、浪江町の鈴木さんが、「被災者は核災棄民だ」と訴え、教育関係者からは、被災地の教育現場の実態が報告された。20代高校生平和大使の高橋さんからは、

戦争させない・9条壊すな！総がかり実行委員会と「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲行動実行委員会の共催で、3月25日に東京都千代田区の日本教育会館で「辺野古への土砂投入中止を訴える集会」が開催された。政党からは、立憲民主党、日本共産党、社会民主党、沖縄の風から連帯の挨拶が行われた。超党派の議員で構成される「沖縄等米軍基地問題議員懇

談会」の石橋通宏事務局長(参議院議員・立憲民主党)から国会報告が行われ、懇談会が精力的に取り組んでいる外務省・防衛省など政府へのヒアリングについて説明が行われた。沖縄から駆け付けた前名護市長の稲嶺進さん(オール沖縄会議共同代表)からは、軟弱地盤や米軍基地の運用基準である高さ制限を超える建造物があることから、新基地建設

## 沖縄辺野古新基地建設反対 県民投票の黙殺を許さない！

オール沖縄会議が主催する「新たな土砂投入を許さない！沖縄県民大会」が3月16日に那覇市内で開催された。県民大会は、2月に実施された沖縄県民投票で示された民意を尊重し、辺野古新基地建設の断念を政府・防衛省に求めるもので、同日、「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲行動実行委員会の呼びかけで、沖縄県民に連帯する首都圏集会が永田町の首相官邸前

で開催された。県民大会は、「土砂投入を許さない！ジュゴン・サンゴを守り、辺野古新基地建設断念を求めろ」とし、「辺野古ブル」を身に着けた1万人が結集し、政府への抗議決議を採択した。一方、首都圏集会では、「辺野古新基地建設反対！」「沖縄県民投票の黙殺を許さない！」と、首相官邸前で安倍政権を糾弾した。

また、海砂を沖縄の海に投入することにより、特定外来生物や沖縄には存在しない生物の持込となり、辺野古、大浦湾の豊かな自然環境を後戻りのできない破壊を押し進める危険性が指摘された。そして、日本政府は生物多様性基本法、生物多様性国家戦略を策定しており、安倍政権がこれに反する行為を進めていることに強く抗議された。

## 環境破壊の土砂投入中止！

沖縄から駆け付けた前名護市長の稲嶺進さん(オール沖縄会議共同代表)からは、軟弱地盤や米軍基地の運用基準である高さ制限を超える建造物があることから、新基地建設

は困難であることが訴えられ、工事を強行する安倍政権の姿勢が非難された。続いて、沖縄県外からの土砂搬入に反対し、署名活動を行っている辺野古土砂搬出全国連絡協議会の顧問である湯浅一郎さんの講演が行われた。

講演では、安倍政権が認められた軟弱地盤の改良工事について言及し、これまでの計画数量以上に県外からの海砂の投入が危惧されること。海砂の採取は採取地の自然環境および生態系の破壊につながることを指摘された。

# 19春闘勝利！中央総決起集会

19けんり春闘全国実行委員会



主催者挨拶する中里委員長

## 19けんり春闘勝利！ 4・5中央総行動

### すべての労働者の生活を守り 人らしく生きるための法整備を

19けんり春闘全国実行委員会は、非正規労働者の要求を掲げ、すべての労働者の生活を守り、人らしく生きるための法制度確立を求め、中小に働く仲間の大幅賃上げ獲得・労働条件改善、争議組合の解決支援などを柱に「19けんり春闘勝利！4・5中央総行動」を4月5日に取り組んだ。

19春闘では大手企業労組に對する集中回答が3月13日に行われ、昨年を大幅に引き下げた回答が出された。企業は最高益を更新し、内部留保は466兆円を上回らる中で、米中貿易摩擦や英国のEU離脱など世界経済の先行き不安を理由にして低額回答であった。

今年10月には消費税を10%に引き上げることが予定されている。また、この間法人税は引き下げられながら労働分配率は益々低くなっている。経団連は「年収ベースで考える」とし、一時金へ再びシフトさせながら、大企業正社員への名目賃金を引き上げ、中

小零細企業で働く労働者、非正規労働者には全く還元されないという格差構造を一層深刻なものにしている。そして、4月から新たな在留資格が作られる、外国人労働者が拡大されている。まさに貧困状況を非正規労働者や外国人労働者に強いる政策が政財界によって更に強められている。

業種による賃金格差や雇用形態による低賃金の強要を許さず、正規・非正規労働者が連帯して闘いを強化し、均等待遇実現に向けた闘いが求められている。

また、高度プロフェッショナル制の導入を許さず、長時間労働に歯止めを掛ける闘いも引き続き取り組む必要がある。

そしてこの19春闘では安倍9条改憲を許さない、沖縄辺野古新基地建設阻止という社会的課題についても大きな闘いを必要としている。

そういう情勢のなか、4月5日に「19けんり春闘勝利！中央総行動」が取り組まれた。15時から、19春闘統一行動を展開していた全労協全国一般労組東京本部が中心となり、首都高速本社千代田区霞が関前にて要請・抗議行動を取り組んだ。ハイウェイ共同会議による首都高速本社に對する「下請労働者の待遇改善要求」に對し、共同の仲間から連帯の挨拶が行われた。

16時から、郵政産業労働者ユニオンが中心となり、日本郵政本社(千代田区大手町)前にて要請・抗議行動を取り組んだ。



日本郵政前行動



経団連前行動

郵政ユニオンから3月19日に行った全国13拠点25職場でのストライキの報告や、非正規労働者の待遇改善を求めた労契法20条裁判の報告が行われた。16時40分から、19けんり春闘全国実行委員会による第3波の経団連(千代田区大手町)前での抗議行動が取り組まれた。主催者挨拶の後、静岡、大阪、京都、宮城といった地方から春闘の闘いの報告が行われ、最後に経団連に對し抗議行動を終えた。

会場を日比谷図書館コンベンションホールに移し、「19けんり春闘中央総決起集会」が開催された。

主催者を代表して、東京清掃労組の中里委員長が19春闘情勢とけんり春闘全国実行委員会の取り組みの報告を行い、引き続き中小に働く仲間の大幅賃上げ獲得と労働条件改善に向け奮闘しようと呼びかけた。続いて、闘いの報告と決意表明が行われた。

全日建連連帯労組から、関西生コン労組への不当弾圧に對する闘い。中小ネットから外国人労働者の問題。全水道東

### 4・12銀座デモ

## FA4名の解雇撤回訴え

米国ユニテッド航空の客室乗務員として長年働いてきた全労FAユニテッド分会の組合員4名(FAユニテッド闘争団)の解雇撤回と原職復帰を求めた裁判は、2019年3月28日に東京地裁民事9部(春名裁判長)で解雇が有効と

の不当判決が言い渡された。判決理由は全て原告主張を否定し、被告会社の主張を上書きしたもので、原告と被告の主張が公正に判断されていなかった。

第1に、解雇当時原告が直接雇用されていたコンチネンタルミクロネシア航空(CMI)と、それを実質支配する親会社ユニテッド航空(UA)との関係性を無視したこの不当労働行為であるとの原告主張も全て否定した。日本の裁判所が一事が万事アメリカファーストに徹し、日本をも解雇自由な国に先導している異様な事態である。

この解雇は、整理解雇という外面を見せながら、その実態は権利を主張する労働者・

員長ら役員勾留期間は8カ月となっている。この不当弾圧の本質は、労働組合の団体行動権について刑事免責を明記した憲法28条と労組法1条2項に對する挑戦である。同時に「共謀罪のリハーサル」ともいえるべき質を持っている。

この関西生コン支部の闘いは、労働運動全体の権利に関わる闘いと位置づけ、運動を広げる必要があるとの観点から、この闘いを全面支援する組織として、鎌田慧(ルポライター)、佐高信(評論家)、宮里邦雄(弁護士)、藤本泰成(平和フォーラム共同代表)等が呼びかけ人となり、「関西生コンに對する不当弾圧とのたたかいを支援する会」(略称・関西生コンを支援する会)の結成総会が、4月15日に参議院議員会館にて開催された。

### 関西生コン支援する会結成 国家権力の不当弾圧許さない

全日建関西地区生コン支部に近年まれにみる規模の権力弾圧が仕掛けられている。ストライキやピラ撒きなど当たり前の組合活動が、「威力業務妨害」「恐喝」等とされ、昨年8月から毎月のように不当逮捕が続く、支部委

社が経営危機に陥っている証拠も具体的データも「企業秘密」だと開き直り何も立証しなかった。

第2に、組合差別問題では、日本の組合(全労)を嫌悪し、アメリカの組合(AFA)アメリカ客室乗務員協会)だけ優先して雇用保障した組合差別の不当労働行為であるとの原告主張も全て否定した。日本の裁判所が一事が万事アメリカファーストに徹し、日本をも解雇自由な国に先導している異様な事態である。

この解雇は、整理解雇という外面を見せながら、その実態は権利を主張する労働者・

員長ら役員勾留期間は8カ月となっている。この不当弾圧の本質は、労働組合の団体行動権について刑事免責を明記した憲法28条と労組法1条2項に對する挑戦である。同時に「共謀罪のリハーサル」ともいえるべき質を持っている。

この関西生コン支部の闘いは、労働運動全体の権利に関わる闘いと位置づけ、運動を広げる必要があるとの観点から、この闘いを全面支援する組織として、鎌田慧(ルポライター)、佐高信(評論家)、宮里邦雄(弁護士)、藤本泰成(平和フォーラム共同代表)等が呼びかけ人となり、「関西生コンに對する不当弾圧とのたたかいを支援する会」(略称・関西生コンを支援する会)の結成総会が、4月15日に参議院議員会館にて開催された。

家族の幸せを災害から守る

火災共済 ⊕ オプション保障(類焼損害保障)

えっ! 火災共済だけじゃ隣家への延焼は保障されないの?

自宅から出火して隣家へ延焼させてしまっても、失火責任法では、著しく注意を欠いた重過失でなければ隣家から損害賠償請求はされません。しかしこの先、両家とも住み続けるとしたら…道義的な責任を果たすためにも必要なのが「類焼損害保障」です。

B1424401E2144-20150209

みんなで暮らしをガード

交運共済 (JR職域生協)

全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

オプション保障(類焼損害費用保険)は、共済火災海上保険協を引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。